

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

学校名	伊万里市立波多津小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部型授業を授業の基本としてきた。課題は、自己表現力の向上である。授業の中に話し合い活動や発表などの自己表現をする活動を意図的に仕組んでいかなければならない。</li> <li>・行事の精選を検討し、育友会に理解を求めてきた。理解が得られた計画に従って業務を改善し、これまで以上に児童理解の場を増やし、学習指導を改善できる環境を作りたい。</li> </ul>
2 学校教育目標	「光る！」 は：励んで光る た：耐えて光る つ：つながって光る
3 本年度の重点目標	行動目標「3つの玉みがき」に取り組むことで、たくましく未来を切り拓く児童を育成する。

4 重点取組内容・成果指標				主な担当者
(1) 共通評価項目				
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低、中、高学年グループで検討して全体研の授業を提案する。</li> <li>・わかりやすい授業を意識するように、「授業づくりステップ1・2・3」を継続的に活用する。</li> </ul>	学習部 研究主任 学力向上コーディネーター
	○学力向上の基礎となる語彙の充実を図る活動の工夫	○継続的な読書指導を行い、家読週間の実施率を70%以上、学年目標冊数達成者90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣部が家読実施状況や図書貸し出し冊数を調べ、声掛けを行う。</li> <li>・図書室のイベントやコーナー企画を行う。</li> <li>・家読駅伝を実施して家読を推進する。</li> </ul>	学習部 図書主任 図書事務補
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○進んで挨拶ができ、相手を思いやる言葉遣いができる児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会の計画による児童の挨拶運動の実施</li> <li>・「○○さん」と呼ぶ指導を行い、これまでの呼び捨ての習慣から変容させる。</li> <li>・自己肯定感を高める取組</li> <li>・伊万里市「いのちの教育3点セット」を活用する。</li> </ul>	生活部 特活部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○保護者アンケートの「いじめに対する学校の取組」の評価を85ポイント以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心のアンケートと個別の面談を定期的に行い、早期発見に努める。</li> <li>・職員連絡会で気にしたい子の報告をして共通理解を図って対応する。</li> </ul>	教頭 生活部
	◎めあてをもって学習活動や学校行事等に取り組む児童の育成	○行事等では自分のめあてをもって取り組むと回答する児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポートなどを活用し学習や行事にめあてを決めて取り組ませ、達成に向けて努力するよう声をかける。</li> <li>・行事毎に振り返りをさせ、学級通信などで紹介する。</li> </ul>	特活部 各担当 各担任
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康には食が大切であると児童が認識するような取組を委員会で行う。</li> <li>・給食試食会や健康教育の授業を行い、保護者も巻き込んだ取組を行う。</li> <li>・食育担当と担任が協力して食育の授業を行う。</li> </ul>	保体部 食育指導担当
	○目標をもって体力づくりに取り組む教育活動	○天気のよい日には外遊びをしたり一輪車の練習をしたりするなど、進んで運動ができる児童90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育委員会主催で、スポーツ・レクリエーションを行う。</li> <li>・健康タイムで一輪車の練習をしたり縄跳びをしたりして、児童の運動への意欲を高める。</li> </ul>	保体部 体育主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出勤、退勤時に業務記録票に時刻を入力して自己管理をする。</li> <li>・定時退勤日の実質的な実践をする。</li> <li>・級外職員による業務支援や地域・保護者の支援を得て業務の効率化を行う。</li> </ul>	管理職
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組 重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
○開かれた学校	○地域人材を活用した教育活動の推進	○全ての学年で効果的な地域人材活用を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間カリキュラムを見直し、地域と連携した効果的な教育活動を計画する。</li> <li>・地域人材のリストを作成し職員間の情報共有を図る。</li> </ul>	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育